



高知大学 (高知県)

地域・国際社会に貢献しうる人材育成と学問・研究の充実・発展を推進

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

高知大学は、人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部及び地域協働学部の6つの学部と大学院総合人間自然科学研究科に人文社会科学専攻、理工学専攻、医科学専攻、看護学専攻、農林海洋科学専攻、地域協働学専攻、スポーツ・芸術文化共創専攻の7つの修士課程、応用自然科学専攻、医学専攻、黒潮圏総合科学専攻の3つの博士課程及び教職実践高度化専攻（教職大学院）を有し、特徴的な教育・研究を行っています。

キャンパスは、高知市の朝倉キャンパスと南国市の物部キャンパス及び岡豊キャンパスの3つがあり、日本語・日本文化研修留学生は、朝倉キャンパスに通います。

② 国際交流の実績

大学間協定校—61機関（20か国・地域）
部局間協定校—28機関（19か国・地域）
コンソーシアム協定—1（5機関、2か国）
※令和6年5月1日時点

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2024年：留学生数114人、日研生1人
2023年：留学生数93人、日研生1人
2022年：留学生数79人、日研生1人
※各年5月1日時点

④ 地域の特徴

高知県は、西日本に位置する四国の南部にあります。北は四国山脈がちなり、南は太平洋に面しています。年間を通じて暮らしやすい温暖な気候で、四季折々の豊かな自然を楽しむことができます。

地方文化にも恵まれています。自由民権運動発祥の地として、近代日本の形成に大きな役割を果たした土地でもあります。

高知市街には美しい鏡川が流れ、市内随所に歴史的な観光名所があります。

日本の主要都市からの所要時間は、空路を利用すれば大阪空港まで45分、東京（羽田）空港まで1時間20分です。そのほか、福岡、名古屋、神戸へも国内便があります。空路のほかにも、長距離バス、鉄道などが利用できます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

留学生科目として、「日本語」、「日本事情」の科目を履修するとともに、専門科目に関しては、「異文化理解」や「外国語としての日本語演習」などを履修することができます。

また、基礎的な日本語力や日本文化などを広く学びたい留学生のためには、グローバル教育支援センターが開講している日本語総合コースの授業も受講できます。

日本語の実践的な運用能力を習得するとともに、専門授業を通して多文化共生力を養うことができます。

③ 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 日本語能力

日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験（JLPT）」N1、N2保持者またはこれと同等の日本語能力を有する者

※N2レベルの者は渡日後、グローバル教育支援センター開講の日本語総合コース（単位不認定科目）を受講すること

2) 日本研究学習歴・専攻

日本語・日本文化に関する分野の専攻者

⑤ 達成目標

- ・日本語による討論と論文作成能力の習得
- ・母国では実施できない研究の遂行
- ・修了レポートを作成し報告会にて発表

⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2025年10月上旬～2026年8月下旬
（在籍期間：2025年10月1日～2026年8月31日）
（修了式は2026年8月を予定）

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月～2026年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬 渡日
10月 新入留学生オリエンテーション
11月 外国人留学生課外研修
黒潮祭（大学祭）
1月 地域との交流活動
5月 地域との交流活動
6月 日本語講演会
8月 修了式
8月下旬 帰国

その他

地域の国際交流団体などが主催する留学生向け各種イベントを紹介します（ホームステイ、着物着付け体験、紙すき体験など）。
地域住民と交流できるイベントにも参加できます。

⑨ コースの修了要件

- ・必修科目14単位、選択科目を含め14単位以上を取得する必要があります。
- ・研究報告書作成並びに研究発表会修了時には、「修了レポート」を提出し、指導教員の合格判定を得なければなりません。
- ・早期修了不可。
- ・成績証明書の発行可

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

日本語能力の向上を図るとともに日本事情・日本文化に関する研修を行い、アカデミック日本語能力の向上並びに日本文化に対する理解を深めます。また、高知の地域文化に触れ、体験活動を通して、日本語・日本文化研修留学生の目線から地域振興にも貢献できる人材育成をめざします。

※単位認定について
学期（2学期制）毎に単位認定を行ってます。

1) 研修・コース科目の特徴

留学生は、必修科目に加え、個人の学習・研究テーマに合わせて共通教育科目や学部専門科目から授業を選択することができます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目（9コマ）・内容
日本語Ⅱ（2コマ／週）・・・上級日本語
日本事情Ⅲ・・・日本の文化を学ぶ
異文化理解・・・日本人学生との共修
外国語としての日本語演習・・・
日本人学生との共修
日本語Ⅲ（2コマ／週）・・・上級日本語
日本事情Ⅳ・・・日本の文化を学ぶ
地域文化理解・・・地域の文化を学ぶ

II) 選択科目（7コマ）・内容

日本語Ⅰ（2コマ／週）・・・上級日本語
日本事情Ⅰ・・・日本文化を学ぶ
日本事情Ⅱ・・・日本文化を学ぶ
日本語特別演習・・・日本語文法を学ぶ
外国語としての日本語・・・
日本人学生との共修
外国語としての日本語基礎論・・・
日本人学生との共修

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等に参加できる科目及びその具体的な内容

必修科目の「地域文化理解」は体験型授業として設定されており、地元住民との交流を通して地域の文化を体験し理解するとともに、日本人学生との共修の中で、地域課題・地域振興を考えられる内容構成となっています。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

必修科目の「異文化理解」、「外国語としての日本語演習」、「地域文化理解」など複数の科目で日本人学生と共修します。いずれの科目も日本人学生と共修することにより、異文化や地域文化、日本語の仕組みなどをより幅広い視点で学べる内容になっています。

～グローバル教育支援センター開講科目～

グローバル教育支援センターでは、「日本語能力試験」N2程度の留学生に対する日本語総合コースの授業（単位不認定科目）を開講しています。日本語・日本文化研修留学生のうち、日本語能力が不十分で、日本語総合コースの受講を必要とする留学生は受講することができます。

グローバル教育支援センターによる日本語総合コース（日本語補講）で開講している科目は以下の通りです。

【日本語総合コース授業科目】

中級聴解Ⅰ＆Ⅱ（30時間×2）

中級会話Ⅰ＆Ⅱ（30時間×2）

中級漢字・語彙Ⅰ＆Ⅱ（30時間×2）

中級読解（30時間）

中級作文Ⅰ＆Ⅱ（30時間×2）

コミュニケーション日本語Ⅰ＆Ⅱ（30時間×2）

ビジネス日本語（30時間）

⑪ 指導体制

コース責任教員：グローバル教育支援センター長

コース担当教員：グローバル教育支援センター教員
人文社会科学部教員

研修留学生指導教員：各研修留学生に担当の指導教員が設けられ、必要に応じて個別指導を行います。

■宿 舎

朝倉キャンパスには、留学生専用宿舎がないため、多くの留学生が民間アパートに入居しています。家賃20,000円～45,000円のアパートに入居している留学生が多いです。
※初期費用として月額家賃の4か月分程度が必要です。

民間アパートに入居するには、多くの場合、連帯保証人が必要です。連帯保証人が見つからないときは保証会社を利用することとなります。

女性の方で寮を希望する場合は、単身用女子寮に入居できることがあります。

【単身用女子寮】

寮費：約 8,300円／月

設備：机・椅子・ベッド・ロッカー・本棚・共同
自炊設備・共同バス・トイレ

場所：キャンパスから寮まで自転車で10分

キャンパス周辺は、食料品店や飲食店が多くあり、生活に便利な場所です。

■修了生へのフォローアップ

修了後もメールなどで連絡を取り合い、日本語・日本文化研修留学生が協定校出身者の場合は可能であれば教員が協定校を訪問し、留学後の学習状況について懇談を計画しています。

■問合せ先

<担当部署>

高知大学学務部国際教育支援室留学支援係

住所：〒780-8520

高知県高知市曙町2-5-1

TEL： +81-88-844-8683（直通）

FAX： +81-88-844-8718

Email： gi05@kochi-u.ac.jp

<ウェブサイト>

高知大学グローバル教育支援センター：

www.kochi-u.ac.jp/international/

高知大学：

www.kochi-u.ac.jp/